

高校2年生学年通信 「縁 2019~2024」 帰国号

～ 2023.11.11 from Narita Air port ～

リアルタイムの思いを残したくて飛行機で書いています。日本まで残り2時間半。成田空港で配信します！！(とのつもりでしたが、Wi-Fiが不調で自宅から配信致します。)

研修旅行はいかがでしたか。ホストファミリーと過ごした3日間はいかがでしたか。僕はバーナビー地区の送迎担当でしたが、最終日の朝、泣きながらホストファミリーとお別れしていくある生徒の姿を見ていて、まるで卒業式の日のような気持ちになりました。たった3日、されど3日という濃密な時間を過ごしたからこそ、溢れる思いを抑えることができなかつたのでしょうか。そのような気持ちを思いやっていると、こちらまで泣けてきます。

世の中の存在は、お互いにとって全てが異質なものです。その存在をrespectしつつ、興味を持って接近していくことができれば、きっと人は分かり合える。完全な理解には至らなくても距離を縮めていくことはできる。そうした適切な距離を保つことができれば、日常的な争いも非日常的な戦争状態もない世界を築くことができる。今回のCanada研修旅行について福田先生から非常に興味深い一言がありました。「away感がない」言われてみるとその通り、こちらの怪しい英語を聞き取ろうとしてくれるし、ありったけの日本語を使おうとしてくれるし、このまま帰りたくないと何度思ったことか…。そう、Canadaの人たちが我々に接するスタンスには「適度な近さ」があるのでしょうか。研修旅行を通じて感じた日々の思いは、学校の学びブログへの掲載をお願いしてあります。僕の個人的な思いも多々ありますが、研修旅行の振り返りとして宜しければお目通しください。

研修旅行について、ちょっとしたこぼれ話をさせてください。最終日にホテルをチェックインしたのはバーナビー地区に生徒たちを迎えに行く前で、スーツケースはフロントに預けていました。全員で合流するためにホテルに戻り、フロントで荷物を受け取ろうとすると、フロントマンから「Who is MR. Satoru Niikura?」と呼び止められました。僕には何も覚えのないExtra Chargeが発生しているとのこと。しかも約60ドル。調べていくと、ホテル併設のSteakハウス & Barでなんとかという名前の方が遣ったものであることが分かりました。おそらく部屋No.でCheckして食事をする際に間違えたのであろうということで、ツアーコンダクターの方の話によると、個人宿泊者の場合はクレジットカード情報とパスポート情報をホテルで登録していることが多く、今回のようなことがあってもバッチリ本人に請求が掛かるそうです。ちなみに部屋の破損などがあった場合も同様ですとのことでした。ヒヤッとしましたが、とても勉強になったよ。おまけ②ですが、復路便のAirCanadaは座席が散り散りになりましたね。僕はB席で両側を一般客にはさまれました。近くにいた生徒たちには「仲良くなっちゃうから平気(笑)」とか「すでに眠いからずっと寝ちゃうつもり」とか言っていましたが、片方の方が話し掛けてくれて必要会話+αを楽しむことができました。実はキャビンアテンダントに日本人の方が多くて残念に思っていたのですが、最後の最後まで英会話をEnjoyすることができて僕としては大満足でしたよ！

成田空港での解散後、最高の仲間たちと食事をしてから帰りたいと企んでおります (^ω^)
Have a nice LIFE ! ! ! ! !